



顎口腔医学でつなぐ、持続可能で質の高い医療と教育の国際共有

医学部 教授 管野 貴浩

歯科口腔外科学講座ではこの2年間に「顎口腔医学の持続可能で国際的な医療と教育・研究に関する情報共有」を目指した活動に力を注いできました。当講座が得意とする顎口腔の最先端テクノロジーを用いた治療技術の紹介、合同定期カンファレンス、学生や大学院生を対象とした顎口腔医学におけるSDGsに関するパネルディスカッション、海外講師の招聘講演等を各国（インドネシア、インド、ベトナム、中国、カザフスタン）と実施しました。

以上の活動を通して、延べ400人以上の参加者に対して顎口腔医学の普及のみならず、持続可能で質の高い顎口腔医療提供、研究及び教育活動をより多くの人々が平等に受けられるにはどうしたら良いのかについて議論してきました。現状、国際状況を鑑みるに顎口腔医療の提供と研究・教育活動が全ての人々に行き渡っているとは言えません。島根大学医学部歯科口腔外科学講座では今後も更なる国際的に活躍できる人材育成と、持続可能な顎口腔医学の発展に尽力していきます。そしてこの輪を本学からアジア各国を中心に広げ、共有の輪を繋いで参ります。



各国とのパネルディスカッション



ベトナムとの合同カンファレンス



海外講師の招聘講演



大学院生へのSDGsに関するインタビュー